

平成25年度4月補正予算の概要

平成25年4月萩市議会臨時会

平成25年4月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計ごとの補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（全 103 事業のうち新規 72 事業）、土地取得事業特別会計（全 1 事業のうち新規 1 事業）、国民健康保険事業（直診勘定）特別会計（全 1 事業のうち新規 1 事業）、簡易水道事業特別会計（全 3 事業のうち新規 2 事業）、公共下水道事業特別会計（全 1 事業）、漁業集落排水事業特別会計（全 1 事業のうち新規 1 事業）、駐車場事業特別会計（全 1 事業のうち新規 1 事業）、病院事業会計（全 1 事業のうち新規 1 事業）の 8 会計です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	補正予算額
一般会計	第 2 号	12 億 1,940 万 3 千円
土地取得事業特別会計	第 1 号	6,966 万 8 千円
国民健康保険事業（直診勘定）特別会計	第 1 号	667 万円
簡易水道事業特別会計	第 1 号	3,040 万 5 千円
公共下水道事業特別会計	第 2 号	2,100 万円
漁業集落排水事業特別会計	第 2 号	3,500 万円
駐車場事業特別会計	第 1 号	4,904 万 6 千円
病院事業会計	第 1 号	7,182 万円

※今回の補正は、8 会計で全 112 事業（うち新規 79 事業）

■ 補正予算の要旨

平成 25 年度当初予算は、3 月に市長選挙を控え、市民生活に直結する扶助費などの義務的経費や一般行政経費、そして投資的な事業は継続的な事業に限定した予算編成であったことから、今回の補正予算は、新たな政策的経費、臨時的経費、県の基金を活用した緊急雇用対策事業に関する経費等を計上し、さらに当初予算編成後の国県の制度変更に伴う財源調整を反映させたものです。

なお、前政権時における国の予備費活用に伴う経済対策予算（平成 24 年度 3 月補正）、政権交代後の国の緊急経済対策予算（平成 24 年度 3 月追加補正）、そして、緊急経済対策により当初予算に計上していた事業の一部を前倒しして実施する事業を調整する予算（平成 25 年度 3 月補正）に加え、今回の補正予算を合わせた実質的な通年予算（14 か月予算）は次頁のとおりとなります。

■ 実質 14 か月の予算規模（一般会計）

平成 25 年度の一般会計当初予算については、対前年度 0.8%減の 317 億 8,300 万円となりましたが、前政権時の予備費活用に伴う経済対策予算を含む平成 24 年度 3 月補正（第 6 号）と政権交代後の緊急経済対策に伴う平成 24 年度 3 月追加補正（第 7 号）、平成 24 年度末に事業費の調整を行った平成 24 年度 3 月専決処分（第 8 号）、それに平成 25 年度当初予算と平成 25 年度 3 月補正（第 1 号）、さらに今回の補正（第 2 号）を合わせた実質的な通年予算額（14 か月予算額）は 337 億 4,536 万 2 千円となり、平成 24 年度の当初予算額と比較すると、17 億 1,636 万 2 千円の増加（対前年度 5.4%増）となります。

この「実質 14 か月予算」はこれまでの当初予算額と比較すると、過去最大の予算規模であった新市発足時の平成 17 年度当初予算額を上回る大規模予算となります。

一 般 会 計	予 算 額	備 考
①平成 24 年度 3 月補正（第 6 号）	5,747 万 7 千円	前政権による経済対策を含む予算
②平成 24 年度 3 月補正（第 7 号）	21 億 1,958 万 4 千円	現政権による緊急経済対策予算
③平成 24 年度 3 月補正（第 8 号）	▲1 億 17 万 8 千円	現政権による緊急経済対策予算の調整（専決処分）
④平成 25 年度当初	317 億 8,300 万円	対前年度 0.8%減（骨格予算）
⑤平成 25 年度 3 月補正（第 1 号）	▲13 億 3,392 万 4 千円	②と④との重複分を減額（H25.3 月議会で議決済）
⑥平成 25 年度 4 月補正（第 2 号）	12 億 1,940 万 3 千円	政策的経費・臨時的経費を追加計上
平成 25 年度実質的な通年予算 （14 か月予算） ①～⑥（A）	337 億 4,536 万 2 千円	対前年度 5.4%増

平成 24 年度当初（B）	320 億 2,900 万円
---------------	----------------

対前年度比（A）－（B）	17 億 1,636 万 2 千円
--------------	-------------------

（参考）平成 17 年度当初	335 億 6,800 万円
----------------	----------------

■ 平成 25 年度予算の状況

1. 一般会計の状況

(1) 歳入の状況

(単位：千円)

区 分	当初 (A)	3月補正 (B)	4月補正 (C)	4月補正後 (A+B+C)	
	予算額	予算額	予算額	予算額	構成比
市税	5,329,082	—	—	5,329,082	16.8%
地方交付税	13,700,000	—	—	13,700,000	43.3%
分担金及び負担金	453,954	△837	6,962	460,079	1.5%
使用料及び手数料	562,941	—	250	563,191	1.8%
国庫支出金	2,787,390	△306,750	51,074	2,531,714	8.0%
県支出金	2,605,295	—	90,927	2,696,222	8.5%
財産収入	87,814	—	2,820	90,634	0.3%
繰入金	908,836	△61,437	942,436	1,789,835	5.6%
うち財政調整基金	869,713	△61,437	685,248	1,493,524	4.7%
うちその他特目基金	39,123	—	257,188	296,311	0.9%
諸収入	486,887	—	12,834	499,721	1.6%
市債	3,961,200	△964,900	112,100	3,108,400	9.8%
その他	899,601	—	—	899,601	2.8%
合 計	31,783,000	△1,333,924	1,219,403	31,668,479	100.0%

(2) 歳出の状況

(単位：千円)

区 分	当初 (A)	3月補正 (B)	4月補正 (C)	4月補正後 (A+B+C)	
	予算額	予算額	予算額	予算額	構成比
議会費	259,205	—	830	260,035	0.8%
総務費	3,958,963	—	197,941	4,156,904	13.1%
民生費	8,550,749	—	129,901	8,680,650	27.4%
衛生費	3,778,877	—	123,520	3,902,397	12.3%
労働費	19,977	—	—	19,977	0.1%
農林水産業費	2,096,191	△43,114	141,614	2,194,691	6.9%
商工費	1,076,133	—	279,252	1,355,385	4.3%
土木費	2,151,963	△10,785	102,447	2,243,625	7.1%
消防費	929,665	—	74,653	1,004,318	3.2%
教育費	3,742,288	△1,280,025	169,245	2,631,508	8.3%
災害復旧費	7,000	—	—	7,000	0.0%
公債費	5,161,989	—	—	5,161,989	16.3%
予備費	50,000	—	—	50,000	0.2%
合 計	31,783,000	△1,333,924	1,219,403	31,668,479	100.0%

2. 特別会計の状況

(単位：千円)

区 分	当初 (A)	3月補正(B)	4月補正(C)	4月補正後 (A+B+C)	
	予算額	予算額	予算額	予算額	構成比
土地取得事業	272,400	—	69,668	342,068	1.8%
国民健康保険事業 (事業勘定)	7,646,700	—	—	7,646,700	39.7%
国民健康保険事業 (直診勘定)	737,600	—	6,670	744,270	3.9%
休日急患診療事業	64,600	—	—	64,600	0.3%
後期高齢者医療事業	829,400	—	—	829,400	4.3%
介護保険事業	6,599,500	—	—	6,599,500	34.3%
簡易水道事業	305,200	—	30,405	335,605	1.7%
公共下水道事業	1,274,300	△22,000	21,000	1,273,300	6.6%
特定環境保全公共下水道 事業	91,300	—	—	91,300	0.5%
農業集落排水事業	644,900	—	—	644,900	3.4%
漁業集落排水事業	696,100	△174,169	35,000	556,931	2.9%
林業集落排水事業	3,700	—	—	3,700	0.0%
特定地域生活排水事業	40,700	—	—	40,700	0.2%
個別排水事業	12,300	—	—	12,300	0.1%
駐車場事業	13,500	—	49,046	62,546	0.3%
合 計 (A)	19,232,200	△196,169	211,789	19,247,820	100.0%
(参考) 一般会計 (B)	31,783,000	△1,333,924	1,219,403	31,668,479	
総合計 (A) + (B)	51,015,200	△1,530,093	1,431,192	50,916,299	

3. 企業会計の状況

(単位：千円)

区 分			当初 (A)	4月補正 (B)	4月補正後 (A+B)
			予算額	予算額	予算額
水道事業会計	収益的	収入	723,600	—	723,600
		支出	712,300	—	712,300
	資本的	収入	100,750	—	100,750
		支出	263,037	—	263,037
病院事業会計	収益的	収入	2,772,612	71,820	2,844,432
		支出	2,831,974	71,820	2,903,794
	資本的	収入	513,085	—	513,085
		支出	719,285	—	719,285

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

平成 25 年度当初予算に政策的経費や臨時的経費を追加計上して、平成 25 年度予算を
通年予算の形とするものです。追加計上しようとする事業は全 103 事業（うち新規 72 事
業）となっています。

事業の内容としては、議会費から教育費まで各分野にわたり、萩まちじゅう博物館構想
の推進を図るもの、子育て環境の充実を図るもの、高齢者の健康を維持するもの、離島振
興を図るもの、経済の振興と再生を図るもの、明治維新 150 年に向けた取組に関するもの、
防災対策の促進を図るものなど新規の施策や臨時的経費を計上し、さらには、当初予算編
成後の国の制度変更による財源調整などを反映させるものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
304 億 4,907 万 6 千円	12 億 1,940 万 3 千円	316 億 6,847 万 9 千円

※今回の補正は、全 103 事業（うち新規 72 事業）

3. 歳出予算の主な事業内容

■ <新規> 議会運営事業（83 万円）

【予算説明書 16 ページ 議会費】
（担当課：議会事務局）

議場及び各委員会室（第 1～3 委員会室、全員協議会室）に会議録音用のテープレコー
ダーが設置されていますが、老朽化に伴い、録音に不具合が生じるため、デジタルレコー
ダーに更新します。

事業内容：デジタル音声レコーダー、記録カード等の購入

<財源内訳>

○ 市の負担 83 万円

■<新規>萩市ホームページ再構築事業（700万円）

【予算説明書 16 ページ 広報費】
（担当課：広報課）

市の行政情報や市民便利帳などの情報を、萩市の公式ホームページで迅速かつ的確に提供するため、平成 18 年度の導入から 7 年が経過したウェブサーバーを更新して情報量の増加に対応します。また、現行のホームページ管理システムを再構築し、より見やすく利用しやすいホームページにするとともに、更新管理の効率化を図ります。

事業内容：○萩市公式ホームページ ウェブサーバーの更新
○ホームページ管理システムの更新



現在の萩市ホームページのトップ画面▲

<財源内訳>

○ 市の負担 700 万円

■<新規>駐車場利用実態調査事業（217万9千円）

【予算説明書 16 ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

市役所駐車場の今後のあり方を検討するため、駐車場の利用実態調査を行います。また、本事業は、障がい者雇用を条件に委託するもので障がい者の就労機会の拡大による社会参加を促進します。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

主な経費：駐車場利用実態調査業務委託料

<財源内訳>

○ 県の補助 217 万 9 千円

■<新規>普通財産管理事業（1,186万8千円）

【予算説明書 16 ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

崩落の危険性のある箇所について、必要な保全工事を行います。また、老朽化した住宅を解体して市有地の有効活用を図ります。

- 事業内容：○旧山田がれき捨場崩落防止工事
○越ヶ浜石山落石防止工事
○旧田万川教員住宅解体工事

<財源内訳>

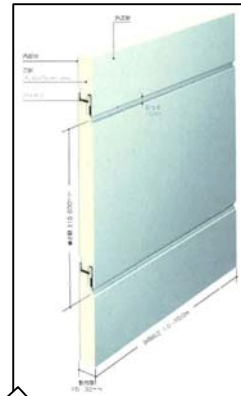
- 市の負担 916万8千円
○その他の収入 270万円

■本庁舎改修事業（9,516万3千円）

【予算説明書 16 ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

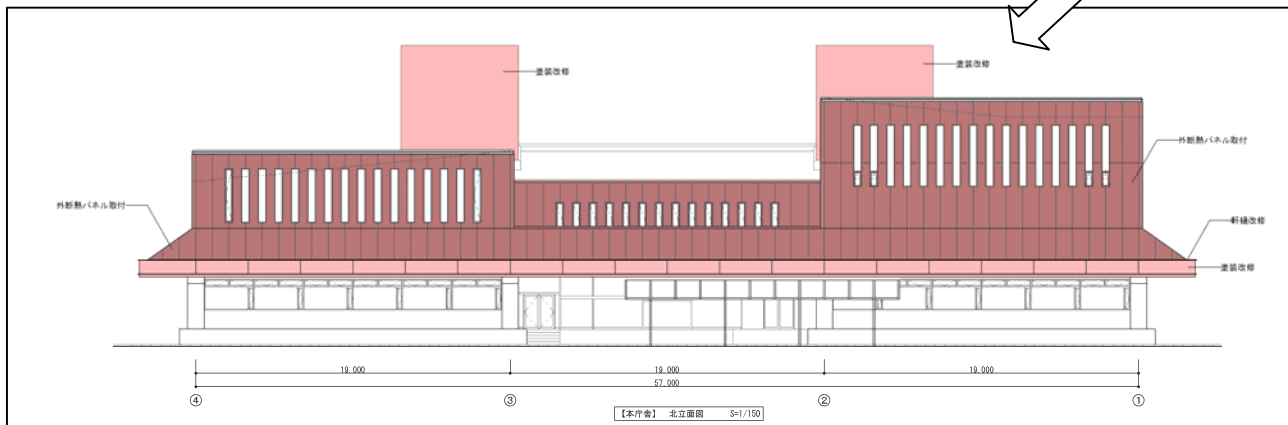
本庁舎の外壁（鋼板）は劣化が著しく、雨漏りが生じているため、断熱効果が高い断熱材付鋼板に改修し、庁舎の延命化と省エネルギー化を図ります。また併せて老朽化している屋根防水層等の補修を行います。

- 工事内容：○外壁断熱パネル取付 面積 2,050㎡
○屋根防水塗装補修 面積 2,373㎡ など



：断熱パネル取付箇所

断熱パネルのイメージ▶



本庁舎北側立面図▲

<財源内訳>

- 市の負担 9,516万3千円

■<新規>東田町駐車場整備事業（666万8千円）

【予算説明書 16 ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

平成 25 年 4 月 1 日に篤志家から将来の利活用が見込まれる不動産の寄附が寄せられました。建物については、倒壊の危険性があるため、解体を行い、駐車場として整備します。

事業内容：○建物解体、整地 など
○駐車場整備 10 区画 面積 220 m²

<財源内訳>

- 市の負担 654 万 8 千円
- その他の収入 12 万円

■<新規>庁舎等用地取得事業（6,635万6千円）

【予算説明書 16 ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

市町村合併以前に土地開発基金で先行取得した本庁舎用地（第2庁舎東側）及び須佐地域松原地区集会所（祇園車収納庫）用地を事業目的に沿って一般会計で買い戻します。

買い戻し用地：○本庁舎用地 967.10 m²
○須佐地域松原地区集会所（祇園車収納庫）用地 36.36 m²

<財源内訳>

- 市の負担 6,635 万 6 千円

■技術検査官設置事業（115万円）

【予算説明書 16 ページ 技術検査費】
（担当課：技術検査室）

当初予算において、非常勤検査官 1 名を予算措置していますが、検査体制の充実を図るため、更に非常勤検査官 1 名を配置します。

主な経費：非常勤検査官報酬 112 万 6 千円 など

<財源内訳>

- 市の負担 115 万円

■<新規>明倫小学校跡地利活用事業（37万4千円）

【予算説明書 16 ページから 企画費】
（担当課：企画政策課）

平成 26 年 4 月の明倫小学校移転に伴い、残された校舎等跡地の利活用を検討するため、「明倫小学校跡地利活用検討委員会」を設置し、平成 25 年度中に利活用の基本方針を策定します。

主な経費：○明倫小学校跡地利活用検討委員会に係る経費 18万8千円
○先進地視察に係る経費 12万1千円 など

施設概要：○面積 30,574 m²（建物敷地、グラウンド）
○建物木造2階建4棟（昭和 10 年建設 総延床面積 7,180 m²）



現在の明倫小学校▲

<財源内訳>

○市の負担 37万4千円

■<新規>長州ファイブ渡英 150 年記念事業（300万6千円）

【予算説明書 17 ページ 企画費】
（担当課：企画政策課）

1863 年 5 月 12 日は長州藩の 5 人の若者（長州ファイブ）が英国に渡り、日本の近代国家の礎を築く原点となった記念日です。本年は長州ファイブが渡英して 150 年の節目となることから、記念事業を開催し、その功績を日本と英国において情報発信し、広く顕彰します。

事業内容：○記念講演会

実施予定日 平成 25 年 5 月 12 日（日）

講師 元ロンドン大学 UCL 副学長 ジョン・ホワイト教授
※通訳 元ロンドン大学客員教授 佐藤顕明教授

○萩市民号派遣

実施予定日 平成 25 年 7 月上旬（4 泊 6 日）

訪問先 英国（ロンドン大学など長州ファイブゆかりの地、世界遺産アイアンブリッジなど）

定員 30 人程度

<財源内訳>

○市の負担 300万6千円

■地域コミュニティ推進事業（217万7千円）

【予算説明書 17 ページ 地域振興費】
（担当課：市民活動推進課）

住民主体のコミュニティ活動を推進するため、拠点施設の改修を行います。

事業内容：○江崎ふるさとセンター トイレの洋式化、手摺り設置
○片俣集会所 軒天・外壁修繕、塗装 など



▲片俣集会所



江崎ふるさとセンター▲

＜財源内訳＞

○ 市の負担 217万7千円

■＜新規＞地域イベント助成事業（100万円）

【予算説明書 17 ページ 地域振興費】
（担当課：市民活動推進課）

住民主体のコミュニティ活動を推進するため、地域が一体となって行う「彦六・又十郎400年記念祭」を支援します。

事業主体：彦六・又十郎伝保存会

※彦六・又十郎物語

『菟城築城の折、その働きが顕著であるとして殿様から褒美をもらえることになった明木の彦六と又十郎は、明木から城下町へ売りに行く炭や薪に課されていたくちやせん口屋銭（通行税）の免除をお願いしました。殿様は、褒美を自分だけのものとしなない二人の心がけに感心し、願いを聞き入れたので、明木の里人は大層しあわせた（助かった・ありがたかった）。』という物語

＜財源内訳＞

○ 他団体からの助成 100万円

■＜新規＞萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業補助事業（100万円）

【予算説明書 17 ページ まちじゅう博物館推進費】
（担当課：まちじゅう博物館・世界遺産推進課）

萩まちじゅう博物館に点在する文化遺産を調査・認定するとともに、各地域で活動するまちづくり団体組織の交流を図り、萩市全体で「萩まちじゅう博物館」の推進を目指します。

実施主体：萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

事業内容：○文化遺産現地調査・ワークショップの開催
○文化遺産認定委員会の開催
○まちづくり団体交流イベントの開催

＜財源内訳＞

○市の負担 100万円

■＜新規＞医療レセプト分析事業（646万8千円）

【予算説明書 18 ページ 社会福祉総務費】
（担当課：市民課）

医療費の適正化については、医療費の傾向や地域特性などを把握し、それに合った保健指導等を実施することが必要となっています。こうしたことから、保険者の立場でレセプト情報の分析を行い、併せて医療情報の周知並びに健康づくり事業の推進のための基礎資料を作成します。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

事業内容：○重複・頻回・多受診者の情報整理
○医療と介護レセプトの突合点検
○地域状況の把握と重点課題の抽出

＜財源内訳＞

○市の負担 5万3千円

○県の補助 641万5千円

■＜新規＞相島文化センター改修事業（214万7千円）

【予算説明書 18 ページ 社会福祉総務費】
（担当課：福祉政策課）

相島文化センターは、地域住民の社会福祉の増進を図る拠点施設であり、高齢者や体の不自由な方がより利用しやすい環境にするため、施設の改修を行います。

- 事業内容：○トイレの洋式化
○施設内出入口の間口拡張（娯楽室、風呂等への入り口3か所）
○浴室の手すり設置

＜財源内訳＞

- 市の負担 214万7千円

■＜新規＞社会福祉施設用地取得事業（35万4千円）

【予算説明書 18 ページ 社会福祉総務費】
（担当課：福祉政策課）

市町村合併以前に土地開発基金で先行取得したむつみ地域有線テレビ局舎（現・世代間交流拠点施設）用地を一般会計で買い戻します。

買戻し用地：むつみ地域世代間交流拠点施設用地 310.19㎡

＜財源内訳＞

- 市の負担 35万4千円

■＜新規＞指月園解体事業補助事業（3,490万2千円）

【予算説明書 18 ページ 社会福祉総務費】
（担当課：福祉政策課）

福祉複合施設つばきの建設に伴い、旧養護老人ホーム指月園を解体するため、事業主体である萩市社会福祉事業団へ解体に係る経費を市が支援します。

- 事業内容：○指月園本館（鉄骨造2階建 1,327㎡）外を解体します。
○救護所・指月園解体に伴い、椎原霊園への給水が止まるため、新たに受水槽の設置等を行います。

＜財源内訳＞

- その他の収入 3,490万2千円

■＜新規＞さんみ苑下水道接続事業（704万8千円）

【予算説明書 18 ページ 障害者福祉総務費】
（担当課：高齢・障がい支援課）

三見地区に下水道施設が整備されたことに伴い、さんみ苑において、下水道施設への接続を行います。

主な経費：設計監理業務委託料、下水道接続工事

＜財源内訳＞

○ 市の負担 704万8千円

■＜新規＞第28回全国健康福祉祭やまぐち大会準備事業（15万円）

【予算説明書 19 ページ 老人福祉総務費】
（担当課：高齢・障がい支援課）

平成27年に山口県において開催される第28回全国健康福祉祭（ねんりんピック）やまぐち大会の準備のため、今年度の開催地である高知県への視察や競技団体等との会議を実施します。

＜財源内訳＞

○ 市の負担 7万5千円
○ 他団体からの収入 7万5千円

■＜新規＞萩・福祉複合施設かがやき改修事業（6,405万円）

【予算説明書 19 ページ 老人福祉施設費】
（担当課：高齢・障がい支援課）

萩・福祉複合施設かがやきは、建設から13年が経過し、補修が必要なため、屋根及び外壁の塗装工事を行います。

工事内容：外壁改修、防水改修、塗装改修 など

＜財源内訳＞

○ 市の負担 5,229万1千円
○ 他団体からの収入 1,175万9千円

■＜新規＞児童クラブ保育改善事業（392万3千円）

【予算説明書 19 ページ 児童福祉総務費】
（担当課：子育て支援課）

児童の安心・安全な環境を確保するため、川上小学校の教室の一部を改修し、川上児童クラブを学校施設内へ移設します。

事業内容：シャッター取付、流し台設置、電気設備工事 など

＜財源内訳＞

○ 市の負担 392万3千円

■＜新規＞保育士等処遇改善臨時特例事業（786万2千円）

【予算説明書 19 ページ 児童措置費】
（担当課：子育て支援課）

私立保育所において、保育士の確保を進めるとともに離職防止に結び付けるため、保育士の処遇改善に取り組みます。

実施園：日の丸保育園、住の江保育園、大島保育園、大井保育園、春日保育園

＜財源内訳＞

○ 県の補助 786万2千円

■<新規>保育園施設耐震化事業（299万7千円）

【予算説明書 19 ページ 児童福祉施設費】
（担当課：子育て支援課）

昭和 56 年 5 月以前に建設された田万川保育園及びあさひ保育園について、現園の機能を維持し、また園児の安全・安心を確保するため、耐震診断を行います。

施設概要：○田万川保育園 昭和 55 年建設 鉄骨造平屋 839.4 ㎡
○あさひ保育園 昭和 55 年建設 鉄筋コンクリート造平屋 643.1 ㎡



▲現在の田万川保育園



現在のあさひ保育園▲

<財源内訳>

○市の負担 299万7千円

■<新規>高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費助成事業（38万7千円）

【予算説明書 20 ページ 予防費】
（担当課：健康増進課）

高齢者がかかる肺炎の多くは肺炎球菌が原因と言われています。肺炎の予防や重症化を防止し、高齢者の健康保持及び増進を図るため、萩市独自の施策として、予防接種費用の一部を助成します。

対象者：75歳の方

助成期間：予算成立後準備が整った日～平成 26 年 3 月 31 日

助成金額：一人 3,000 円

<財源内訳>

○市の負担 38万7千円

■＜新規＞離島に居住する妊婦の健診等にかかる交通費等支援事業（65万円）

【予算説明書 20 ページ 予防費】
（担当課：健康増進課）

離島（大島・相島・見島）に居住する妊婦は島内に医療機関（産婦人科）がないため、島を離れて妊婦健診・分娩をすることとなります。経済的負担を軽減し、定期的な健診を可能とするため、健診時や分娩時にかかる交通費及び宿泊費の一部を支援します。

一人当たりの支援対象経費：○船賃（往復 15 回分）
○宿泊費（分娩時 1 回分）

＜財源内訳＞

○市の負担 65万円

■＜新規＞家庭用浄水器設置費臨時補助事業（100万円）

【予算説明書 20 ページ 環境衛生費】
（担当課：環境衛生課）

安心して飲用することができる水を確保するため、浄水器を設置する方に設置費用の一部を支援します。

事業期間：平成 25～26 年度（2 か年限定の事業です。）

補助対象者：水道給水区域外の地域に居住する方で、飲用として井戸を設置し、自らその水質検査を行った結果、市が指定する項目において基準値を超える値が検出された方

補助金額：浄水器設置費用の 2 分の 1（千円未満の端数切捨て）
※限度額 10 万円

補助台数：1 世帯につき 1 台

＜財源内訳＞

○市の負担 100万円

■＜新規＞保健センター改修事業（1,723万8千円）

【予算説明書 20 ページ 保健センター費】
（担当課：健康増進課）

萩市民の健康づくりの拠点施設である萩市保健センターは、建設から 27 年が経過し、劣化が進行しています。施設延命化のため、外壁改修を行います。

施設概要：昭和 61 年 3 月建設 鉄筋コンクリート造 2 階建

＜財源内訳＞

○市の負担 1,723 万 8 千円

■<新規>農業生産法人規模拡大支援事業（1,000万円）

【予算説明書 20 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

組織的営農が困難な集落の農地及び高齢化による労働力不足から営農の継続が困難となった農地を、既存の隣接する農事組合法人が規模拡大により集積した場合、その集積面積に応じて支援します。

実施主体：あぶらんど萩地域農業推進協議会

補助内容：新たに集積した農地 10a 当たり 2 万円を支援します。

<財源内訳>

- 市の負担 1,000 万円
（うち 市の借入金 1,000 万円）

■<新規>鳥類被害防除対策事業補助事業（130万円）

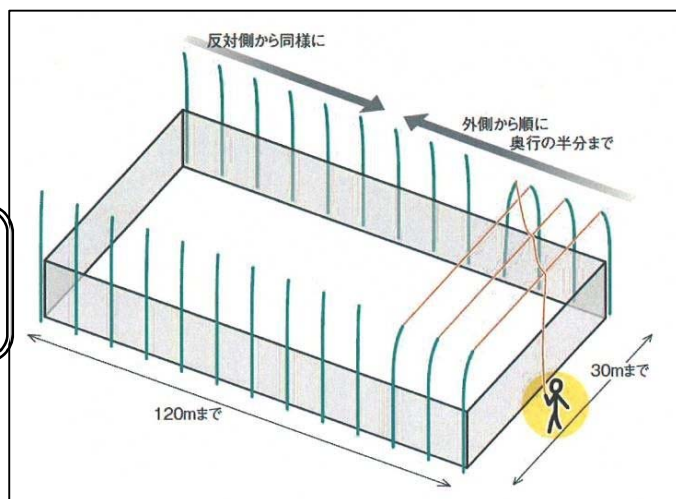
【予算説明書 20 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

新たに開発された防鳥ネットは、カラス・ヒヨドリによる果樹や柑きつ類の被害対策として効果があることから、この資材費の一部を補助します。

- 補助内容：○果樹園用 1 ほ場（約 30 a）当たり 9 万円（10 ほ場）
○低木果樹・畑作物用 1 ほ場（約 2 a）当たり 4 万円（10 ほ場）

<財源内訳>

- 市の負担 130 万円
（うち 市の借入金 130 万円）



果樹園用防鳥ネットイメージ図▲

■サル被害に強い集落づくり拡大支援事業（400万円）

【予算説明書 20 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

平成 23 年度からモデル的に事業を実施してきましたが、サル被害防止に一定の効果が現れてきたため、この取組を市内各地に拡大して実施し、それぞれの地域活動を支援します。

補助金額：1 集落あたり 40 万円を補助（10 集落分）

補助対象経費：○サル被害対策研修会の開催経費
○サル用簡易侵入防止柵「猿落君」資材費
○サル追払い用資材費 など



▲ロケット花火による追払い実習



手軽に設置できる「猿落君」▲

＜財源内訳＞

○ 市の負担 400 万円
（うち 市の借入金 400 万円）

■＜新規＞担い手定住促進住宅改修事業（1,028万2千円）

【予算説明書 20 ページ 農業振興施設費】
（担当課：農政課）

むつみ地域では、新規就農者及び集落営農支援員の受入れや新規就農を目指す方のための短期研修制度により、農業の担い手育成、確保に積極的に取り組んでいます。

その取組を更に加速することから、新規就農希望者及び集落営農支援員などの住宅確保を目指し、築 30 年以上の老朽化して空き家状態にある教職員住宅 2 棟を農業担い手定住促進用住宅として改修します。

- 事業内容：○安^{あんづけ}附教職員住宅（高佐 3 号）
昭和 57 年建設 木造平屋建 床面積 61.62 ㎡
○安附教職員住宅（高佐 4 号）
昭和 50 年建設 木造平屋建 床面積 60.86 ㎡

＜財源内訳＞

- 市の負担 514 万 9 千円
- 国の補助 488 万 3 千円
- その他の収入 25 万円

■＜新規＞農業振興施設用地取得事業（296 万円）

【予算説明書 21 ページ 農業振興施設費】
（担当課：農政課）

市町村合併以前に土地開発基金で先行取得した須佐地域の新規農業団体（鈴野川あぐり塾）による新規作物導入のための研修場用地を事業目的に沿って一般会計で買い戻します。

買戻し用地：須佐地域鈴野川地区農業試験研修場用地 11,147 ㎡

＜財源内訳＞

- 市の負担 296 万円

■＜新規＞資源循環型肉用牛経営育成事業（81万4千円）

【予算説明書 21 ページ 畜産業費】
（担当課：農政課）

肉用牛生産の振興と資源循環を図るため、水田を活用した飼料作物の栽培と堆肥の処理散布を条件として、肉用牛の増頭に必要な施設整備の一部を助成します。

実施主体：あぶらんど萩和牛改良組合 阿北支部

事業内容：繁殖牛舎（9頭規模）1棟の整備

総事業費：162万8千円

負担割合：市 1/4、県 1/4、和牛改良組合 1/2

＜財源内訳＞

- 市の負担 40万7千円
- 県の補助 40万7千円



牛舎改築予定の養豚舎▲

■＜新規＞見島揚水施設改修事業（300万円）

【予算説明書 21 ページ 農地費】
（担当課：農政課）

萩地域見島^{はっちょうはったん}八町八反地区の揚水用ボーリングの老朽化により用水の供給が不足していることから、新たに隣接場所に揚水用ボーリングを行い、安定した農業用水を確保します。

総事業費：300万円

負担割合：萩市 30%、山口県 50%、地元 20%

事業内容：ボーリング 40m

＜財源内訳＞

- 市の負担 90万円
- 県の補助 150万円
- 受益者の負担 60万円

■農村地域防災減災事業（825万円）

【予算説明書 21 ページ 農地費】
（担当課：農政課）

危険ため池を計画的に改修します。平成 25 年度は地元の合意が得られた市内6か所の危険ため池の改修に向けて調査設計を行います。なお、田万川地域、旭地域については、山口県土地改良事業団体連合会が実施する事業、むつみ地域については、県が実施する事業であり、それぞれ負担金を支出します。

総事業費 3,100 万円（うち萩市負担分 825 万円）

調査箇所：田万川地域 しもじんで 下神田ため池
むつみ地域 くれがたに うりゅう こびつ ひ ぐち 暮ヶ谷、宇立、古櫃、樋の口ため池
旭地域 すもつば 角力場ため池

＜財源内訳＞

○ 市の負担 825 万円

■＜新規＞竹繁茂防止緊急対策事業（200万円）

【予算説明書 21 ページ 林業振興費】
（担当課：林政課）

観光施設等周辺の放置竹林を対象に、森林の持つ多面的機能の回復・発揮や景観・環境の維持・回復を図るため、「やまぐち森林づくり県民税」を財源とした補助金を活用し、繁茂が拡大する竹林を緊急的に伐採するとともに、伐採跡地への花木植栽など周辺住民との連携により環境保全への意識高揚を図ります。

事業期間：平成 25～26 年度（第 2 期の残り 2 年間）

事業内容：対象繁茂竹林の調査及び竹の伐採
伐採面積 約 1 ヘクタール

＜財源内訳＞

○ 県の補助 200 万円

■間伐促進対策事業（500万円）

【予算説明書 21 ページ 林業振興費】
（担当課：林政課）

間伐により森林整備を促進し、間伐材を利用した人工魚礁を整備することにより、水産資源の確保・育成による漁業経営の安定を図るため、環境にやさしい間伐材魚礁の作製・設置を行います。

事業期間：平成 21～25 年度

総事業費：2,500 万円

設置箇所：須佐地域 54 基（予定）

＜財源内訳＞

- 市の負担 250 万円
- 県の補助 250 万円

■＜新規＞間伐用林内作業路開設事業補助事業（60万円）

【予算説明書 21 ページ 林業振興費】
（担当課：林政課）

森林保全や間伐材利用による木材自給率の向上を図るため、間伐（切捨間伐も含む。）に係る経費の一部助成に加え、更なる木材自給率拡大と森林資源の活用を図るため、間伐材搬出用の林内作業路開設に係る経費の一部を定額で助成します。

事業内容：間伐用林内作業路開設事業補助金

※間伐材を搬出するための間伐林内の作業路に限ります。

- ・幅員 1.5m～2.0m程度
林内作業車（フォワーダ等）が利用可能で簡易な作業路
- ・延長 1ヘクタール当たり 200m以内
- ・助成額 1m当たり 300円（1ヘクタール当たり 6万円を上限）

＜財源内訳＞

- 市の負担 60 万円



開設される林内作業路▲

■小規模治山事業（1,282万8千円）

【予算説明書 21 ページ 治山費】
（担当課：林政課）

豪雨災害などにより被災した人家に隣接する山腹崩壊地及び荒廃山地において、災害の防止・軽減を図るため、被災森林の復旧及び溪流の水路改修を行います。

実施予定箇所：○治山工事
田万川地域下田万地区
福栄地域^{きょうば}京場地区
○予防治山関連工事
萩地域椿大屋水路
川上地域川上^{いかだば}筏場水路

<財源内訳>

- 市の負担 592万8千円
（うち 市の借入金 460万円）
- 県の補助 575万円
- 受益者の負担 115万円

■広域漁場整備事業負担金事業（1,833万4千円）

【予算説明書 22 ページ 水産業振興費】
（担当課：水産課）

近年、沿岸域の藻場が衰退傾向にあり、水産生物の生育環境の悪化が懸念され採介藻漁業にも影響を与えています。この対策として、藻礁ブロック（人工的に培養した母藻を装着したブロック）等を設置することにより藻場の造成を行い、回復に努めます。なお、県が実施する事業であり、県へ負担金を支出します。

実施主体：山口県

事業期間：平成 24～26 年度

総事業費：8 億円
（うち萩市負担額 約 7,330 万円）

負担割合：萩市約 9.2%、阿武町約 0.8%、県 90%

<財源内訳>

- 市の負担 1,833万4千円
（うち 市の借入金 1,830万円）

■＜新規＞魚食文化伝承施設整備事業（974万6千円）

【予算説明書 22 ページ 水産業振興施設費】
（担当課：水産課）

日本海の主要食用魚種が揃い、伝統文化を重んずる萩市から「食と魚」を発信し、魚食文化の伝承・普及を行うとともに、6次産業化を推進するため、魚食文化伝承施設の整備基本構想・基本計画を策定します。

業務内容：○整備基本構想・基本計画の策定
○検討委員会の設置

＜財源内訳＞

○市の負担 974万6千円

■＜新規＞水産基盤ストックマネジメント事業（1,400万円）

【予算説明書 22 ページ 漁港建設費】
（担当課：水産課）

漁港施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化・縮減を図ることを目的に、漁港施設の機能保全計画を策定します。

業務内容：漁港施設の老朽化状況調査を行い、機能保全計画を策定

対象地区：大井漁港^{みなと}湊地区



大井漁港湊地区▲

＜財源内訳＞

○市の負担 350万円
○県の補助 1,050万円

■＜新規＞相島漁港整備事業（350万円）

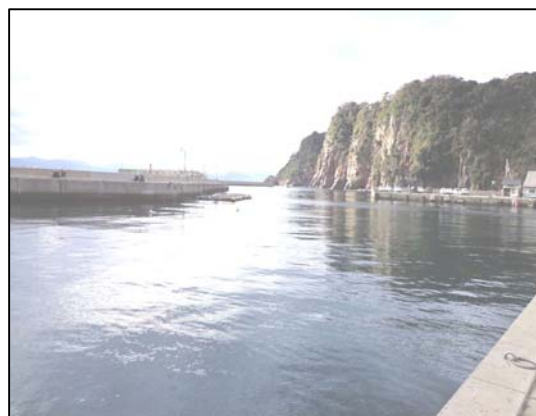
【予算説明書 22 ページ 漁港建設費】
（担当課：水産課）

定期船発着場の見直しの検討も含め、相島漁港の防波堤や岸壁等の整備基本計画を策定します。

業務内容：基本計画の策定（港内静穏度の解析、施設の配置計画）

＜財源内訳＞

○ 市の負担 350万円



現在の相島漁港▲

■＜新規＞経済活性化支援事業（441万円）

【予算説明書 22 ページ 商工業振興費】
（担当課：経済再生・企業誘致推進課）

市の推進する企業誘致活動業務や商品開発支援等のコンサルタント業務を支援することにより、既存企業の事業拡大など市内経済の活性化を図り、地域の雇用の受け皿を創出します。なお、県の雇用対策事業を活用して行います。

事業内容：○市内民間遊休地、空き店舗、空き工場の情報収集、データベース化
○全国の企業誘致動向のリサーチ
○萩市にゆかりのある経営者情報の調査、人的ネットワークの構築 など

主な経費：企業誘致活動業務とコンサルタント業務の委託料

＜財源内訳＞

○ 県の補助 441万円

■＜新規＞6次産業化振興事業（681万3千円）

【予算説明書 22 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工課）

農林漁業者等の6次産業化を支援するため、地域にある農林水産の調査を行い、地域内の商工業者とのマッチングに取り組みます。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

実施主体：○萩・阿西商工会
○萩阿武商工会

主な経費：6次産業化振興事業委託料

＜財源内訳＞

○ 県の補助金 681万3千円

■＜新規＞地域産業振興事業（288万3千円）

【予算説明書 22 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工課）

地域内の特産品に加え、農商工連携により開発した新商品やそれらを組み合わせた商品の販路拡大及び地域産業の振興を図ります。さらに、デパートやスーパーマーケット等で宣伝販売を行うなど、PRに努めます。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

実施主体：萩・阿西産業振興センター

主な経費：地域産業振興事業委託料

＜財源内訳＞

○ 県の補助金 288万3千円

■＜新規＞東部地域産業振興事業（231万5千円）

【予算説明書 22 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工課）

田万川地域の豊かな果物やブランド肉を素材として、新たな加工品の製造及び商品開発に取り組みます。また、これらを道の駅等で販売するなど、さらなる産業振興を図り、地域の活性化を目指します。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

実施主体：株式会社たまがわ

主な経費：東部地域産業振興事業委託料

＜財源内訳＞

○ 県の補助金 231万5千円

■離島高校生修学支援臨時対策事業（324万円）

【予算説明書 23 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工課）

高校未設置の離島に住む高校生に対し、通学費や居住費など修学に係る経費の援助を行う離島高校生修学支援臨時対策事業補助金について、平成 25 年度から支給限度額が引き上げられることから、上乗せ部分（1 人あたり差額の 9 万円）を追加計上します。

対象者：高校未設置の離島に住む高校生 36 名程度

事業内容：年間 24 万円を上限に助成（当初予算額：年間 15 万円）

<財源内訳>

- 市の負担 81 万円
- 国の補助 162 万円
- 県の負担 81 万円

■<新規>大島漁港通路屋根整備事業（1,701万円）

【予算説明書 23 ページ 商工業振興施設費】
（担当課：商工課）

新たに整備された大島漁港の施設を充実させ、利用者の利便性の向上を図るため、渡船場通路に屋根（雨よけ）を設置します。

事業内容：通路屋根整備工事 延長 80m（予定）

<財源内訳>

- 市の負担 1,701 万円
（うち 市の借入金 1,700 万円）

■<新規>農産物加工販売所「つつじ」進入路改修事業（139万7千円）

【予算説明書 23 ページ 商工業振興施設費】
（担当課：商工課）

農産物加工販売所「つつじ」前の国道 262 号は交通量が多く、国道から施設に出入りする車両で大変混雑するため、追突事故等の危険性が極めて高くなっています。出入口付近の混雑を解消するため、出口レーンを増設することで、右折レーンと左折レーンの 2 つに区分し、国道へのアクセスを円滑にすることで、安全の確保と施設利用者の利便性の向上を図ります。

主な経費：進入路改修工事

<財源内訳>

○ 市の負担 139 万 7 千円



出入口の混雑の様子▲

■<新規>道の駅「あさひ」厨房機器整備事業（290万円）

【予算説明書 23 ページ 商工業振興施設費】
（担当課：商工課）

道の駅「あさひ」の食堂は、平成 25 年 1 月にテナントが撤退し、空店舗となっています。道の駅として飲食施設は欠かせないことから、次のテナントを公募する予定であり、必要な厨房機器を整備します。

整備する厨房機器：冷凍冷蔵庫、テーブル型冷蔵庫、製氷機 など

<財源内訳>

○ 市の負担 290 万円



食堂の様子▲



▲道の駅「あさひ」

■<新規>道の駅「ゆとりパークたまがわ」施設改修補助事業（288万円）

【予算説明書 23 ページ 商工業振興施設費】
（担当課：商工課）

利用者の安全性確保、商品の品質管理の向上を目的に、株式会社たまがわが生産物直売所の屋外にカーポートによる固定売場を整備することから、経費の一部を支援します。

実施主体：株式会社たまがわ

事業内容：耐風性固定カーポートの設置
5基（96㎡）

<財源内訳>
○市の負担 288万円

■企業誘致推進事業（1億5,343万5千円）

【予算説明書 23 ページ 企業誘致推進費】
（担当課：経済再生・企業誘致推進課）

昨年度、川上地域に誘致が決定した企業（トーフレ株式会社）の進出計画（第2期）に対応するため、工場用地の取得及び整備を行います。

主な経費：用地造成工事、進入路整備工事、用地購入費 など

<財源内訳>
○その他の収入 1億5,343万5千円

■体験旅行等充実事業（253万円）

【予算説明書 23 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

「歴史文化、食、自然」など地域資源を活かした観光客の誘致、企業研修や修学旅行等の学ぶ観光の誘致を行うため、地域資源の発掘・調整等を行い、新たな観光客層の開拓に取り組みます。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

事業内容：○体験プログラムの発掘作業・受入調整
○学校や企業、旅行業者等へのPR活動
○市内外の体験交流観光促進業務
○萩市ふるさとツーリズム推進協議会等への参加・支援
○農山漁村の連携の各種プロジェクト等への参加・支援

<財源内訳>
○県の補助 253万円

■＜新規＞インバウンド事業（234万6千円）

【予算説明書 23 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

公益財団法人交流協会が実施した台湾における対日世論調査において、一番好きな国、一番旅行したい国に日本が選ばれていることから、積極的なPRを行います。また、美祢市が現地事務所を開設していることから、連携を図り、現地ニーズを把握しながら受入体制の整備を図ります。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。

事業内容：○PRイベント等への出展
○観光説明会・商談会等への出展
○交流団体等の招致、来萩支援 など

＜財源内訳＞

○ 県の補助 234万6千円

■萩観光おもてなし推進事業（1,304万4千円）

【予算説明書 23 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

萩市を訪れる観光客に対して、維新の志士などに扮して観光案内や藩政時代の町並みが残る観光地での写真撮影などに応じ、明治維新胎動の地「萩」を演出します。また、平成30年の明治維新150年に向け、幕末・維新関連の人物にスポットをあてた関連イベントなどを企画し、「明治維新＝萩」を発信するとともに、萩観光おもてなしの推進を図ります。なお、県の雇用対策事業を活用して実施します。



維新の志士に扮した案内人▲

＜財源内訳＞

○ 県の補助 1,304万4千円

■むつみ地域ひまわりロード設置事業（132万円）

【予算説明書 23 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

萩・津和野線沿線のひまわりロードについて、夏に咲くひまわりのほか、春から秋にかけて花の咲く「フラワーロード」の演出を目指します。

植栽計画：○春 シバザクラ、菜の花
○夏 ひまわり
○秋 そば

主な経費：○ひまわりロード設置業務委託料
○仮設トイレ借上料



満開のひまわり▲

＜財源内訳＞

○市の負担 132万円

■＜新規＞明治維新 150 年関連事業補助事業（350万円）

【予算説明 23 ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

明治維新胎動の地「萩」を演出し、他の観光地との差別化を図るとともに、訪れるお客様へのおもてなしを充実させます。平成 25 年度は、奇兵隊結成 150 年、長州ファイブ渡英 150 年の記念の年でもあり、情報発信するとともに、次年度以降の関連情報も順次発信します。また、幕末・明治維新に関し、萩ゆかりの人物や歴史などを学ぶ「萩・幕末維新検定」も実施します。本事業は、これらの必要な経費を一部支援します。

事業内容：下記イベント等に係る経費を一部支援します。

- ・紙芝居「高杉晋作」・「長州ファイブ」
- ・奇兵隊パレード
- ・高杉晋作ファンの集い
- ・明治維新 150 年情報発信
- ・萩・幕末維新検定 など



奇兵隊パレードの様子▲

＜財源内訳＞

○市の負担 350万円

■＜新規＞観光案内看板等整備事業（916万6千円）

【予算説明書 24 ページ 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

観光客の利便性の向上と観光都市としてのイメージアップを図るため、案内看板等の新設及び更新を行います。

- 事業内容：○歴史的まちなみ看板整備
 渡辺菫蔵旧宅周辺など 18 か所（予定）
○見島歓迎看板整備
 見島本村港付近にある歓迎看板の更新
○道永の滝・畳ヶ淵観光案内看板整備
 国道及び県道の交差点など 6 か所（予定）

＜財源内訳＞

- 市の負担 550万8千円
- 国の補助 340万8千円
- その他の収入 25万円

■＜新規＞畳ヶ淵遊歩道整備事業（40万円）

【予算説明書 24 ページ 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

須佐地域の観光資源である畳ヶ淵の遊歩道において、途中にある公衆トイレのし尿引き抜き作業を行う車両などの進入が困難な状況にあるため、遊歩道の拡幅を行います。

- 事業内容：遊歩道の拡幅（路肩コンクリート施工）
 整備延長 96m
 拡幅 0.4m～0.6m（現況の道幅 1.8m）

＜財源内訳＞

- 市の負担 40万円



畳ヶ淵の様子▲

■花と緑の修景事業（61万7千円）

【予算説明書 24 ページ 緑花推進費】
（担当課：花と緑の推進課）

花と緑のまちづくり事業推進のための市民ボランティアの育成と、花壇作りや花木、夏みかんなどの樹木の植栽とを併せ、市民の手による維持管理を行い、花と緑のまちづくりを図ります。

- 事業内容：○保存樹木指定に伴う表示プレートの設置
○花と緑の応援隊などのボランティア活動への支援資材の購入
 バーク堆肥などの肥料、作業用燃料
○花と緑の応援隊などのボランティア活動への貸出し支援用具の購入
 高切ノコ、高切バサミ、脚立



▲笠山の会のサクラ天狗巣病除去作業



▲田万川地区八幡自治会花壇管理作業▲

<財源内訳>

○市の負担 61万7千円

■<新規>常盤大橋橋りょう整備事業 (2,100万円)

【予算説明書 24 ページ 橋りょう新設改良費】
(担当課：土木課)

萩市が管理する橋りょうは716橋で、現在、架設から50年が経過する橋りょうが全体の16%、また、20年後には70%を超えることとなります。平成20年度から策定を行ってきた道路橋長寿命化修繕計画に基づいて、予防的な修繕が必要な橋りょうの補修を行います。

事業内容：実施設計業務委託
常盤大橋 延長 328m

<財源内訳>

- 市の負担 840万円
(うち 市の借入金 840万円)
- 国の補助 1,260万円

■<新規>指月川改修事業 (3,762万6千円)

【予算説明書 25 ページ 河川改良費】
(担当課：土木課)

指月川は大正15年に整備され86年が経過しています。現在まで、護岸の改修や補修を幾度か行っていますが、経年変化や流水の吸出しによる影響が危惧されているため、家屋などが近接する護岸の改修を行います。

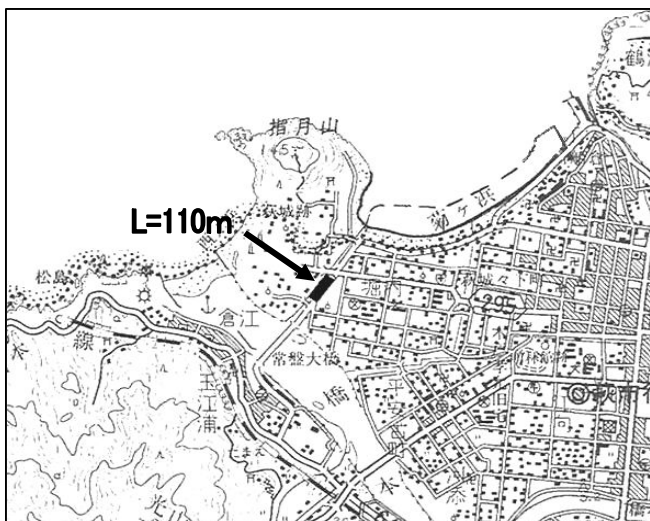
事業期間：平成25～26年度

事業計画：指月川護岸改修 延長 110m

主な経費：○建物等補償費算定業務委託料
○建物・立木等補償費 など

<財源内訳>

- 市の負担 3,762万6千円



▲位置図



▲現在の状況▲

■＜新規＞都市計画道路網見直し調査事業（685万7千円）

【予算説明書 25 ページ 都市計画総務費】
（担当課：都市計画課）

都市計画道路の整備が長期未着手の路線については、見直しを遅滞なく行う必要性が高まっており、効果的な道路事業の推進を図るため、将来交通量や事業の実現性等を踏まえ、見直し方針を策定し、都市計画道路網の見直し素案を作成します。

調査内容：交通量調査（幹線道路交差点：10か所予定）、将来交通量推計、都市計画道路の課題の整理、見直し対象路線（区間）の抽出、必要性の検証、評価（存続、変更、廃止）、都市計画道路網の見直し素案の作成 など

＜財源内訳＞

- 市の負担 457万2千円
- 国の補助 228万5千円

■＜新規＞玉江浦街区公園整備事業（154万5千円）

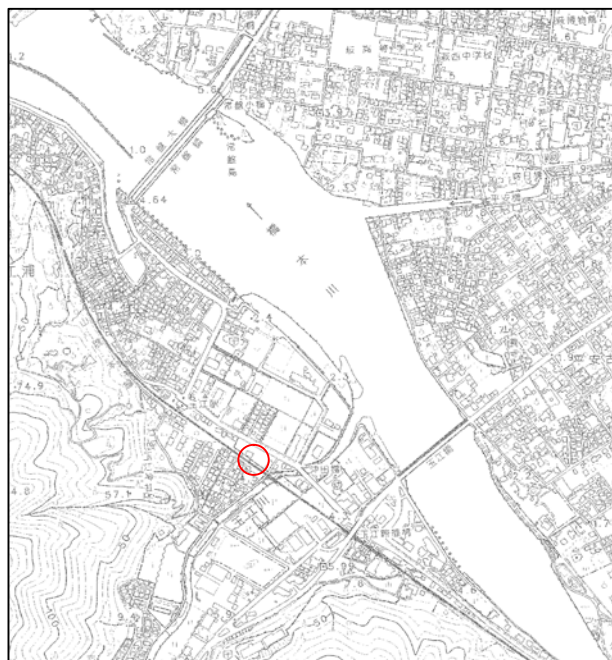
【予算説明書 25 ページ 公園費】
（担当課：都市計画課）

水害で都市公園の敷地に土砂等が堆積し敷地が荒廃損傷したため、敷地の整地を行います。

事業内容：○土砂すき取り 面積1,100m²
○真砂土整地置換 55m³



▲玉江浦街区公園



位置図▲

＜財源内訳＞

- 市の負担 154万5千円

■ <新規>公営住宅等長寿命化計画策定事業（450万円）

【予算説明書 26 ページ 住宅管理費】
（担当課：建築課）

地域の実情に応じた公営住宅ストックの活用と目標設定を行い、住宅の計画的な建替え、修繕、改善、用途廃止などの適切な手法の選択により、予防保全的な維持管理、長期的に活用していくための長寿命化型改善等、今後のライフサイクルコストの削減を図ることを目的として「萩市公営住宅等長寿命化計画」を策定します。

<財源内訳>

- 市の負担 225万円
- 国の補助 225万円

■ <新規>老朽危険空き家対策事業（320万6千円）

【予算説明書 26 ページ 住宅管理費】
（担当課：建築課）

老朽化または自然災害等により、周辺に悪影響を与える空き家等については、「萩市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、空き家等の実態調査を行った上で、所有者等に対して助言、指導、勧告、命令、公表を行ったにもかかわらず、危険回避等の改善措置が履行されない場合には、所有者等に代わり市が解体・除却等を行い、その費用負担を所有者等に求めるものです。

<財源内訳>

- その他の収入 320万6千円

■ <新規>市営住宅解体事業（180万円）

【予算説明書 26 ページ 住宅管理費】
（担当課：建築課）

昭和39年度に建設された無田ヶ原団地（木造平屋建1棟5戸）は、建物の老朽化が著しく、耐用年数を相当期間超えていることから、解体を行います。

<財源内訳>

- 市の負担 180万円



現在の無田ヶ原団地▲

■<新規>大堤団地整備事業（491万3千円）

【予算説明書 26 ページ 住宅建設費】
（担当課：建築課）

昭和 44 年から 45 年にかけて建設された、コンクリートブロック造 2 階建の船隠団地の住替えとして、旧大堤団地に木造の住宅を建設するもので、平成 25 年度から事業着手します。

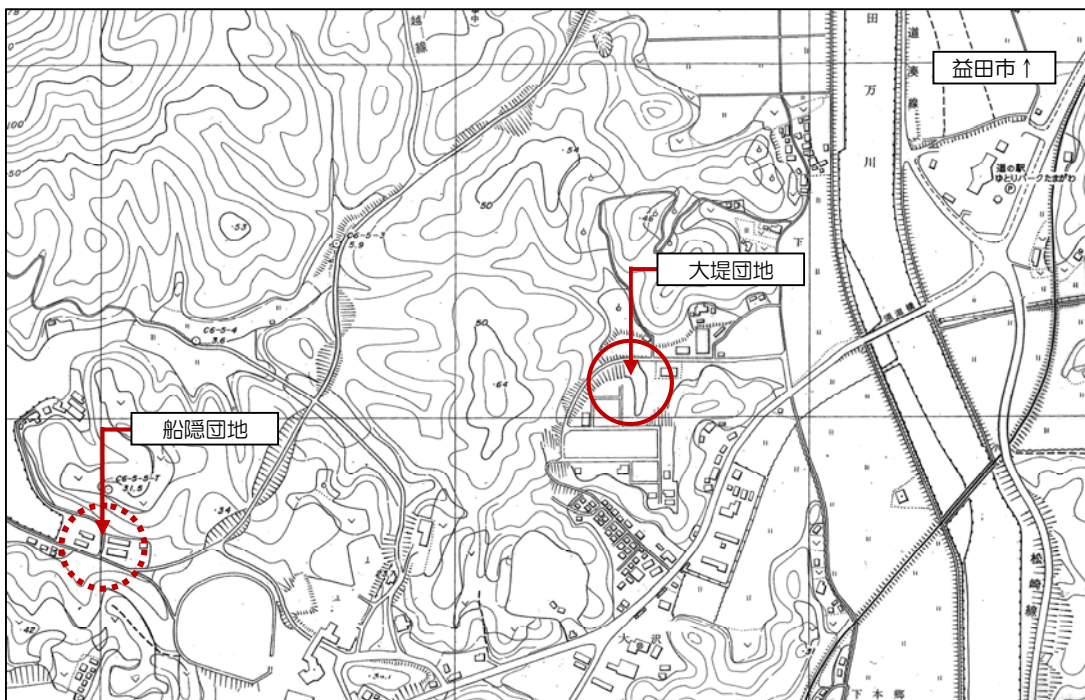
事業期間：平成 25～26 年度

総事業費：1 億 2,620 万円

整備場所：田万川地域江崎地区

事業計画：木造 2 階建 3 棟 6 戸

事業内容：地質調査業務、設備設計業務、既設建物解体工事



▲大堤団地整備（位置図）

<財源内訳>

- 市の負担 425万7千円
- 国の補助 65万6千円

■＜新規＞通信指令施設整備事業（1,878万4千円）

【予算説明書 26 ページ 消防施設費】
（担当課：消防本部総務課）

消防救急無線のデジタル化に合わせ、耐用年数を経過している通信指令装置を更新します。併せて、通信指令室の配置変更など消防庁舎改修工事を行います。

事業期間：平成 25～27 年度

総事業費：4 億 146 万 8 千円

事業内容：○通信指令装置更新に係る実施設計業務委託
○消防庁舎改修工事に係る設備設計監理業務委託
○消防庁舎改修工事
エントランス階段下改修、設備配管移設、屋外倉庫増設、電話移設、
山口県防災行政無線衛星系機器移設、仮眠室棚設置、浴室等改修など

＜財源内訳＞

- 市の負担 1,690 万 6 千円
（うち 市の借入金 330 万円）
- 他団体の負担 187 万 8 千円



現在の通信指令室▲

■＜新規＞消防水利取水施設整備事業（196万4千円）

【予算説明書 26 ページ 消防施設費】
（担当課：消防本部総務課）

初期消火施設として小型の取水施設を2基整備し、住宅のみでなく、林野火災にも対応した消防水利の確保により、消防力の充実を図ります。

整備場所：福栄地域 紫福平原地区

平原台農園 配管設備 延長 7m
コンクリート取水槽 1.5m³
標識設置

平原農村公園 配管設備 延長 6m
コンクリート取水槽 1.5m³
標識設置

＜財源内訳＞

○ 市の負担 196万4千円

■＜新規＞急患等搬送施設整備事業（198万7千円）

【予算説明書 26 ページ 消防施設費】
（担当課：消防本部総務課）

離島や山間部から山口県ドクターヘリにより急患搬送が可能となりました。萩市北部のドクターヘリ拠点施設となる上の原ランデブーポイントを円滑に利用するための整備を行います。

なお、県内ドクターヘリは夜間運用に対応していないことから、当該施設の夜間用の施設整備は行いません。

事業内容：田万川地域 上の原ランデブーポイント整備工事
舗装面積 445 m²（内 進入路 45 m² ヘリポート 400 m²）

＜財源内訳＞

○ 市の負担 115万9千円
○ その他の収入 70万円
○ 他団体の負担 12万8千円

■消防車両整備事業（2,340万円）

【予算説明書 26 ページ 消防施設費】
（担当課：消防本部総務課）

萩市消防団では、現在 71 台の消防車両を有しており、これを計画的に更新します。

購入車両：○田万川第4分団 CD-I 型消防ポンプ自動車
○佐々並第1分団 小型動力ポンプ付積載車



▲CD-I 型消防ポンプ自動車



小型動力ポンプ付積載車▲

<財源内訳>

○市の負担 2,340万円
（うち市の借入金 2,340万円）

■<新規> 海拔表示シート作成事業（788万6千円）

【予算説明書 26 ページ 災害対策費】
（担当課：防災安全課）

東日本大震災以来、津波災害に対する住民の意識も高く、全国的にも海拔表示を行う自治体が増える中、萩市においても沿岸部に海拔表示することで、地震発生から津波到達までの短時間に、高地への避難を円滑に行うとともに、住民・観光客等に現地の標高を認識してもらうため、海拔表示シートを設置します。

設置箇所数：約 100 か所

設置対象地域：萩・田万川・須佐地域と離島の沿岸部

<財源内訳>

○市の負担 788万6千円
（うち市の借入金 780万円）

■＜新規＞新防災行政無線システム創設整備事業（1,713万2千円）

【予算説明書 26 ページ 災害対策費】
（担当課：防災安全課）

防災行政無線は、普段の行政情報案内のみでなく、自然災害、テロ、国民保護、感染症等の危機発生時には、緊急情報の配信手段となります。市全域の防災行政無線が未整備となっている本市において、旧町村で設置された防災行政無線・音声告知システムと本庁とのネットワーク化、また各戸への情報伝達手段が整備されていない菟地域の対応を含め、今後、本庁一括管理が可能な情報伝達システムの確立のため基本設計を行います。

＜財源内訳＞

○ 市の負担 1,713万2千円

■＜新規＞屋外拡声器整備モデル事業（350万円）

【予算説明書 27 ページ 災害対策費】
（担当課：防災安全課）

津波等の被害が予想される沿岸地区のうち漁協等の屋外拡声設備のない菟地域後小畑地区において、試験的に屋外拡声器を1基整備することにより、沿岸部の拡声器による音声伝搬範囲と防災活用効果を検証し、今後の市全域における新防災行政無線システム創設への活用を図ります。

＜財源内訳＞

○ 市の負担 350万円
（うち 市の借入金 350万円）

■小中学校改修事業（4,332万3千円）

【予算説明書 27 ページから 小学校管理費、中学校管理費】
（担当課：教育委員会総務課）

市内小中学校施設の改修等を行うことにより、児童生徒の学校生活における利便性・安全性を確保し、学校教育環境の向上を図ります。

事業内容：○小学校 2,757万5千円

- ・越ヶ浜小学校プールサイド改修工事
- ・三見小学校下水道接続工事
- ・川上小学校屋上防水改修工事
- ・弥富小学校屋外トイレ改修工事
- ・弥富小学校プール洗い場床補修工事 など

○中学校 1,574万8千円

- ・萩西中学校黒板張替工事
- ・萩西中学校屋内運動場庇改修工事
- ・大島中学校屋内運動場照明器具改修工事
- ・大島中学校屋内運動場雨樋改修工事
- ・川上中学校校舎屋根補修工事
- ・川上学校給食共同調理場屋根改修工事
- ・須佐中学校技術室床等改修工事
- ・須佐中学校屋上防水改修工事 など

＜財源内訳＞

○市の負担 4,332万3千円

■＜新規＞小中学校図書館整備事業（155万4千円）

【予算説明書 27 ページから 小学校教育振興費・中学校教育振興費】
（担当課：学校教育課）

学校図書館に図書館担当職員を配置し、図書館機能を充実させることにより児童生徒の読書活動を推進し、考える力等の向上を図ります。小中学校に各1名を配置します。

主な経費：司書補助員賃金

配置先：○明倫小学校
○萩東中学校

＜財源内訳＞

○市の負担 155万4千円

■＜新規＞子育て科創設事業（19万2千円）

【予算説明書 27 ページから 小学校教育振興費・中学校教育振興費】
（担当課：学校教育課）

子どもたちが、「子育て」に関する知識や技能を積み上げていき、将来、親として自立した人間を育てることができるよう、その基礎を築くため、萩市として、新しい教科「子育て科」創設に向けての準備を行います。

事業期間：平成 25～26 年度

事業内容：①既存の教科・教材を「子育て」をキーワードにして系統化し、カリキュラムを作成する。併せて②を組み入れる。
②松陰先生を育てた両親（杉家、吉田家）の思いを探り、教材化する。
③次年度に上記①の作成したカリキュラムを基に指導案、教材集等を作成する。

＜財源内訳＞

○ 市の負担 19万2千円

■＜新規＞萩・農下村塾事業（428万円）

【予算説明書 27 ページから 小学校教育振興費・中学校教育振興費】
（担当課：学校教育課）

児童生徒に人間本来の最も基本的な活動である農業を体験させることにより、豊かな人格形成を図ります。

具体的には、全ての学校で栽培活動に取り組むと共に、小学校においては、一度は「田植え、稲刈り」などを体験させ、中学校においては、農産物の加工・流通など幅広く農業の体験学習を実施します。

主な経費：○バス借上料 238万4千円
○農業体験学習補助金 128万円 など

＜財源内訳＞

○ 市の負担 428万円

■＜新規＞萩・お宝活用プロジェクト事業（89万9千円）

【予算説明書 27 ページから 小学校教育振興費・中学校教育振興費】
（担当課：学校教育課）

市内の人的・物的資源を活用し、児童生徒の知育・徳育の充実を図ることを目的として、全小中学校を対象に専門家による音楽の出前授業を、小学校を対象に文化施設（美術館・博物館）での体験学習を実施します。

主な経費：音楽出前講座講師派遣旅費 5万1千円
文化施設（美術館・博物館）体験学習補助金 84万8千円

＜財源内訳＞

○ 市の負担 89万9千円

■小学校施設耐震化事業（1,689万3千円）

【予算説明書 27 ページ 小学校建設費】
（担当課：教育委員会総務課）

学校施設は、子どもたちの活動の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。このため、耐震性が確保されていない学校施設の耐震化を平成 27 年度完了を目途に計画的に行います。

事業内容：白水小学校屋内運動場耐震補強工事



白水小学校屋内運動場▲

＜財源内訳＞

○ 市の負担 1,107 万円
（うち市の借入金 1,050 万円）
○ 国の補助 582 万 3 千円

■＜新規＞伝統的建造物群保存対策調査事業（265万7千円）

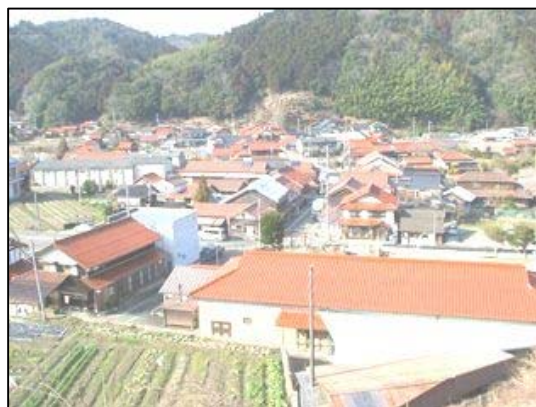
【予算説明書 28 ページから 文化財保護費】
（担当課：文化財保護課）

平成 23 年 6 月に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた佐々並市地区において、伝統的建造物の建物の保存及び住民の安全確保を目的に、防災体制の確立と強化、保存地区内の防災設備の整備を図るための地区防災計画を策定します。

事業期間：平成 25～26 年度

総事業費：619 万 6 千円

事業内容：○防災計画策定委員会の開催
○防災計画策定業務の委託



佐々並市地区▲

＜財源内訳＞

- 市の負担 88 万 6 千円
- 国の補助 132 万 8 千円
- 県の補助 44 万 3 千円

■＜新規＞重要伝統的建造物群保存地区土地買上げ事業（160万2千円）

【予算説明書 28 ページから 文化財保護費】
（担当課：文化財保護課）

佐々並市伝統的建造物群保存地区の取組に対する普及・啓発を図ってほしいとの趣旨で、平成 24 年 11 月に伝統的建造物（建物）の寄附を受けました。平成 25 年度は、その敷地を購入し、建物の公開や資料の展示を行うとともに、地区内を散策される観光客等の休憩施設及び地元保存会の活動拠点として、建物と一体的に活用します。

事業内容：寄附を受けた建物の土地 2 筆（668.44 m²）の買上げ



寄附物件の外観▲

＜財源内訳＞

- 市の負担 37 万 6 千円
- 国の補助 104 万円
- 県の補助 18 万 6 千円

■ <新規>天然記念物見島ウシ産地再生事業（3,055万9千円）

【予算説明書 28 ページから 文化財保護費】
（担当課：文化財保護課）

日本で最も古い和牛と言われている見島ウシの頭数は、ここ数年横ばいの傾向にあり、経済牛として搬出可能となる頭数（雌牛 100 頭）には達していません。個々の農家の牛舎には収容能力の限界があり、老朽化も進んでいます。また、農家自身の高齢化も課題となっています。そこで、飼育環境を改善するとともに、共同飼育により高齢農家の負担を軽減するため、50 頭規模の共同牛舎及び堆肥舎を整備し、天然記念物「見島ウシ産地」の保護と振興を図ります。

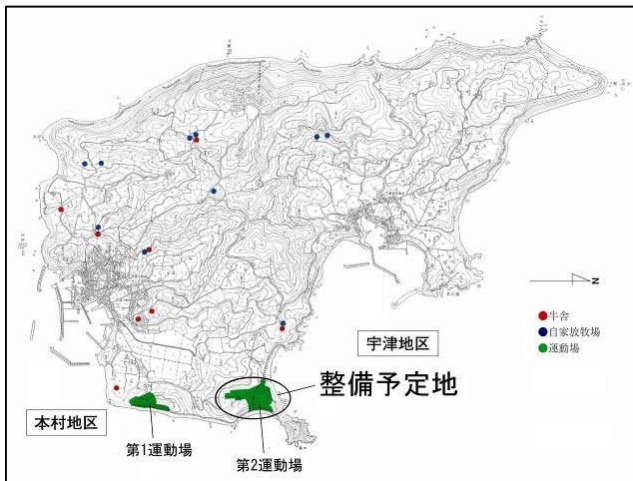
事業期間：平成 25～26 年度

総事業費：7,411 万 8 千円

事業内容：○用地造成 面積 800 m²
○共同牛舎の建設 面積 600 m²
○堆肥舎の建設 面積 200 m²

<財源内訳>

- 市の負担 1,528 万円
- 国の補助 1,527 万 9 千円



▲整備位置図



▲牛舎建設予定地▲

■史跡萩城城下町保存修理事業（2,634万6千円）

【予算説明書 28 ページから 文化財保護費】
（担当課：文化財保護課）

国指定史跡萩城城下町にある萩市所有の文化財の修理を行うとともに、民間所有者が実施する重要文化財の保存修理工事に対する補助を行います。

青木周弼旧宅

事業期間：平成 24～27 年度

総事業費：1 億 2,100 万円

※平成 25 年度事業費：2,507 万 1 千円

事業計画：主屋・仲間部屋・土蔵・表門・塀の保存修理

事業内容：平成 25 年度は仲間部屋と土蔵の解体及び一部組立等と表門の解体工
事を行います。

菊屋家住宅

事業主体：財団法人菊屋家住宅保存会

事業期間：平成 25～26 年度

総事業費：1,433 万円

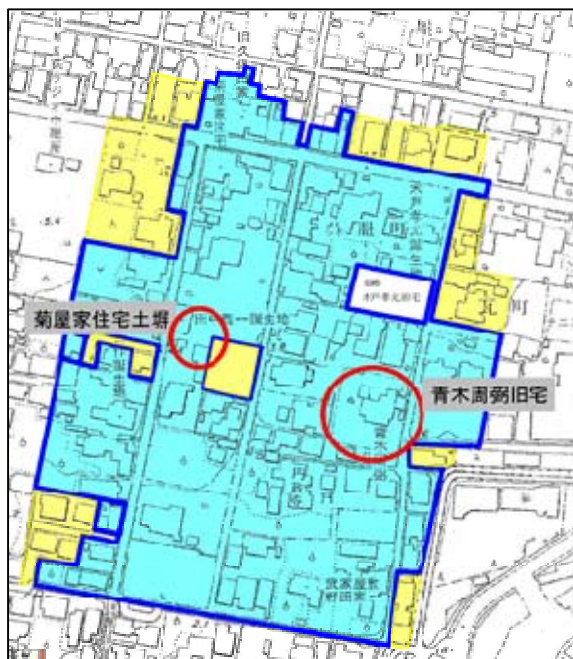
※平成 25 年度事業費：1,020 万円

（うち萩市負担額 127 万 5 千円 事業費 1,020 万円×12.5%）

事業計画：庭園南側の土塀の保存修理等（解体修理）に対する支援

<財源内訳>

- 市の負担 754 万 4 千円
- 国の補助 1,253 万 5 千円
- 県の補助 626 万 7 千円



▲位置図



青木家仲間部屋▲



菊屋家南側土塀▲

■史跡萩反射炉保存修理事業（△1,567万4千円）

【予算説明書 29 ページ 文化財保護費】
（担当課：文化財保護課）

萩反射炉については、保存修理委員会から、傷みの著しいレンガ部の施工は、補修用の薬剤や目地の素材及び耐久性などを検討のうえ、オリジナルレンガと同じ組成のレンガの模型で試験施工を行うなど、慎重に行うべきとの指導を受けました。そのため、平成 25 年度は、レンガ模型の作成と煙突上部の蓋の通気改良工事を行うこととし、当初計画していた目地の補修やレンガ部工事用の素屋根設置は平成26年度以降に行うこととしたため、事業費を減額します。

事業期間：平成22～29年度

＜財源内訳＞

- 国の補助 △783万7千円
- 県の補助 △391万8千円
- その他の収入 △391万9千円



萩反射炉▲

■社会体育施設改修事業（5,661万4千円）

【予算説明書 29 ページ 体育施設費】
（担当課：スポーツ振興課）

各地域の社会体育施設において、利用者に安心・安全な施設として開放するとともに、施設の延命化を図るため、老朽化が著しい箇所の改修を行います。

- 事業内容：
- 川上体育館屋根改修工事
 - むつみ B&G 海洋センター改修工事
プールろ過装置改修工事
 - 弥富体育館改修工事
屋根等改修工事
グラウンド進入路・駐車場舗装工事
オートリフター取替工事
 - 鈴野川農林漁業者等健康増進施設屋根改修工事
 - 旭農林漁業者等健康増進センター改修工事
鉄柱土台補修工事
倉庫屋根補修工事
 - 旭農林漁業者等山村広場改修工事
受水槽等取替工事
 - 福栄グラウンド管理棟改修工事

＜財源内訳＞

- 市の負担 4,561万4千円
- 県の補助 1,100万円

■ 土地取得事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、土地開発基金により先行取得した用地について、一般会計で買い戻すことに伴い、必要な経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
2億7,240万円	6,966万8千円	3億4,206万8千円

※今回の補正は、全1事業（うち新規1事業）

3. 歳出予算の事業内容

■ <新規>土地取得事業（6,966万8千円）

【予算説明書 38 ページ 土地取得事業費】
（担当課：財産管理課）

市町村合併以前に土地開発基金で先行取得した用地のうち、既に行政財産等として使用している用地について、一般会計で買い戻すことに伴い、利子相当分は土地開発基金に積立てを行い、土地代分については、同基金へ繰出します。

- 一般会計で買い戻す用地：○本庁舎増築事業用地 967.10㎡
○むつみ地域世代間交流拠点施設用地 310.19㎡
○須佐地域松原地区集会所用地 36.36㎡
○須佐地域鈴野川地区農業試験研修場用地 11,147㎡

<財源内訳>

- その他の収入 6,966万8千円

■ 国民健康保険事業（直診勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、須佐地区の患者受診環境を整え、安定的な受診を図るため、須佐診療センターでの診療を再開することから、必要な経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
7億 3,760万円	667万円	7億 4,427万円

※今回の補正は、全 1 事業（うち新規 1 事業）

3. 歳出予算の事業内容

■ <新規> 須佐診療センター診療再開事業（667万円）

【予算説明書 44 ページから 一般管理費等】
（担当課：地域医療推進課）

須佐地区から弥富診療センターへ受診している患者が増加傾向にありますが、高齢化が進み、通院手段も十分とは言えない中で、須佐地区の患者受診環境を整え、安定的な受診を図るため、須佐診療センターでの診療を再開します。

診療日時：隔週土曜日 午前 9 時～午後 1 時 ※予約制

<財源内訳>

- 市の負担 562万円
- その他の収入 105万円

■ 簡易水道事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、福栄地域福川簡易水道の安定的な水道水の給水確保を図るため、紫福簡易水道施設と福川簡易水道施設の統合を行う経費、田万川・須佐地域の水道監視設備等を更新する経費及び地方公営企業法の適用を受けるため、須佐地域の水道施設の基礎調査を行う経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
3億520万円	3,040万5千円	3億3,560万5千円

※今回の補正は、全3事業（うち新規2事業）

3. 歳出予算の事業内容

■ 簡易水道法適化整備事業（640万5千円）

【予算説明書 52 ページ 施設管理費】
（担当課：水道工務課）

各総合事務所管内の簡易水道等を、地方公営企業法を適用する簡易水道事業へ移行するため、水道施設の基礎調査を行います。

対象地域：須佐地域
※須佐地域以外は調査済み

事業内容：水道施設の基礎調査

<財源内訳>

○ 市の負担 640万5千円

■<新規>田万川・須佐地域水道施設監視設備等更新事業（400万円）

【予算説明書 52 ページ 施設建設費】
（担当課：水道工務課）

田万川・須佐地域の耐用年数を経過した中央監視装置や電気計装設備等の更新を行います。

整備場所：田万川地域・須佐地域

事業期間：平成 25～31 年度

総事業費：4 億 530 万円
※平成 25 年度事業費：400 万円

事業内容：田万川・須佐地域の水道施設の更新を行います。
（平成 25 年度は調査設計業務）

<財源内訳>
○ 市の負担 400 万円

■<新規>福栄地域（紫福・福川）水道施設統合整備事業（2,000万円）

【予算説明書 52 ページ 施設建設費】
（担当課：水道工務課）

福栄地域福川簡易水道の安定的な水道水の給水確保を図るため、山の口ダムを水源とする紫福簡易水道施設と福川簡易水道施設の統合を行います。

整備場所：福栄地域

事業期間：平成 25～28 年度

総事業費：4 億 6,300 万円
（うち平成 25 年度事業費 2,000 万円）

事業計画：紫福・福川簡易水道の統合
新設送水管布設延長 6,900m
紫福配水池築造工事 容量 350 m³
（平成 25 年度は基本計画及び変更認可業務）

<財源内訳>
○ 市の負担 2,000 万円
（うち 市の借入金 360 万円）

■ 公共下水道事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、新しく整備を始める椿北地区の測量や雨水対策整備計画に基づき排水区域の変更を行う経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
12億 5,230万円	2,100万円	12億 7,330万円

※今回の補正は、全 1 事業

3. 歳出予算の事業内容

■公共下水道事業（2,100万円）

【予算説明書 60 ページ 施設建設費】
（担当課：下水道建設課）

新しく整備を始める椿北地区の測量や雨水対策整備計画に基づき排水区域の変更を行うための事業変更などを行います。

事業期間：昭和 52 年度～

事業内容：○公共下水道事業計画（汚水・雨水）変更業務
○椿北地区現況平面図作成業務 など

<財源内訳>

○市の負担 2,100万円

■ 漁業集落排水事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、漁業集落の汚水処理をしてきた須佐浦地区の処理場を廃止することから建物の解体を行う経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
5億2,193万1千円	3,500万円	5億5,693万1千円

※今回の補正は、全1事業（うち新規1事業）

3. 歳出予算の事業内容

■ <新規> 須佐浦地区漁業集落排水処理場解体事業（3,500万円）

【予算説明書 68 ページ 施設建設費】
（担当課：下水道建設課）

平成25年4月から特定環境保全公共下水道の須佐浄化センターにおいて、須佐浦地区漁業集落の汚水の共同処理を始めたことにより、これまで漁業集落の汚水処理をしてきた須佐浦地区の処理場を廃止し、建物の解体を行います。

事業内容：須佐浦地区処理場の解体



須佐浦地区処理場▲

<財源内訳>

○ 市の負担 3,500万円

■ 駐車場事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、新堀立体駐車場を解体し、平面駐車場として再整備を行うために必要な経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
1,350 万円	4,904 万 6 千円	6,254 万 6 千円

※今回の補正は、全 1 事業（うち新規 1 事業）

3. 歳出予算の事業内容

■ <新規>新堀駐車場再整備事業（4,904 万 6 千円）

【予算説明書 74 ページ 施設管理費】
（担当課：商工課）

新堀駐車場の老朽化に伴い、今後施設を維持していくためには、多額の改修費用が見込まれることから、新堀立体駐車場を解体し、平面駐車場として再整備を行います。



新堀駐車場▲

<財源内訳>

○ 市の負担 4,904 万 6 千円

■ 病院事業会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、市民病院の屋根及び外壁の補修を行う経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

区 分	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
収益的収入	27億7,261万2千円	7,182万円	28億4,443万2千円
収益的支出	28億3,197万4千円	7,182万円	29億379万4千円

※今回の補正は、全1事業（うち新規1事業）

3. 歳出予算の事業内容

■ <新規>市民病院外壁等改修事業（7,182万円）

【予算説明書2ページ 経費】
（担当課：萩市民病院）

萩・健康維新の里（市民病院、萩・福祉複合施設かがやき）は、建設から13年が経過し、施設に経年による劣化が発生している箇所もあり、施設の延命化のため、市民病院の屋根及び外壁の改修を行います。

<財源内訳>

○ 市の負担 7,182万円